

## (4) 図書館サービス計画の令和4年度計画の方向性について

## 資料2

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
図書館の基本的なサービス	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	
	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	
	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	
(1) 乳幼児・保護者	おはなしかい	今後も実施を継続します。回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	先進図書館の調査を行う。成功事例の調査研究を行う。(前年度分と合わせ2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。)	R3課題 2023 (R5) に調査をまとめ、報告する。
	ブックリスト配布	今後も配布を継続します。配布場所については追加を検討します。	継続実施	
	ブックスタート事業	絵本の配布を検討します。	実施準備 事業概要や概算見積もりと共にローリングに計上する。	R3課題 ローリング時に指摘された事項を再検討し、2022 (R4) 年度に再度計上する。
	ブックスタート事業	赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	運営主体や方法について検討する。	
	セカンドブック	実施に向けて検討します。	実施 運営主体や方法について検討する。	セカンドブックは、ブックスタート事業開始後に予算要求開始。
	館内託児サービス	実施に向けて検討します。	先進図書館の調査を行う。(前年度分と合わせ2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。)	R3課題 2023 (R5) に調査をまとめ、報告する。

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
	子育て支援コーナー等の設置	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関わる資料の児童コーナー隣接を検討します。	先進図書館の調査を行う。 (前年度分と合わせ2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。)	R3課題 2023 (R5) に調査をまとめ、報告する。
	子育て支援コーナー等の設置	国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。	(2年間計画/2年目) 先進図書館の事例調査研究を行う。庁内関係各課、外部の関連機関の情報について調査を行う。	R3課題 2023 (R5) に調査をまとめ、報告する。
	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施 運用規定の課題を整理する。	R3課題 課題について、2024 (R6) までに、改善案をまとめる。
	幼稚園、保育園等への団体貸出	今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。	(2年間計画/2年目) (2年間計画/1年目) 市内の園等での読書活動の実態調査を行う。	R3課題 2023 (R5) にアンケート送付、実施等をずらす。
(2) 小学生・中学生	ブックリスト配布	今後も全校への実施を継続します。	継続実施	
	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。	「いい本みつけた! 中学生」書架(じどうYA)について、利用状況を調査する。	
	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。	継続実施	
	おはなしかい	今後も実施を継続します。 子どもたちの参加意欲促進に努めます。	継続実施	
	イベント、講座	今後も実施を継続します。	継続実施	
	イベント、講座	中学生向けの図書館講座について、調査研究を行い、実施を検討します。	中学生向け講座の事例研究を行う。	
	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施 職員及びボランティアの研修(読み聞かせ・素話)を実施する。	

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
	学校訪問おはなし会	回数や実施方法について検討します。	ボランティアが主体となるような実施方法を検討する。 (前年度分と合わせ2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。)	R3課題 事例調査について2023 (R5) に調査をまとめ、 報告する。
	読み聞かせボランティアの養成	今後も実施を継続します。	継続実施	
	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	町探検 (小学2年生) に合わせた図書館紹介パンフレットの作成等、内容の充実について検討する。 非来館でも図書館についてPRする方法について調査する。	
	職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	職場体験 (小学校6年生・中学2年生) に合わせた図書館・司書業務紹介パンフレットの作成等、内容の充実について検討する。	
	読書に困難を感じている子どもの支援	コースやサービス内容について、調査研究を行います。 サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービスを実施します。	需要調査、機器などの調査、及び研究を行う。	
	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	視察 視察先を選定する。	新型コロナウイルスの感染状況によって、電話や書面等の事例調査に切り替える可能性がある。
	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	継続実施	
	学校図書館の支援	団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	学校図書館との団体貸出等図書館資料の配送体制整備について先行事例を研究する。	事例調査について、2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。
	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。 学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	継続実施	
(3)	ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。	YAサービスの計画を立案する。	

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
青少年	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	YAサービスの計画を立案する。 書棚の構成バランスや、資料の選定基準について方針を定める。	
	ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	YAサービスの計画を立案する。	
	イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。	ヤングアダルト向けのイベントについて事例の調査研究を行う。	
	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	(2年間計画/2年目) 事例の調査研究を行う。	
(4) 成人	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。 蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。 展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	
	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。 レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	
	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	
(5) 高齢者	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施 大活字本及び朗読CDの収集方針を立てる。	2022 (R3) 年度に調査を完了し、2023 (R5) 年度に収集方針を定める。
	資料の収集、提供	電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。	オーディオブックコンテンツの事例の調査研究を行う。 実施計画のローリングに計上する。	
	高齢者施設等との連携	高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。	企画立案 市内施設へのニーズ調査を実施し、検証した報告書をまとめる。	2023 (R5) 年度に、「高齢者施設との連携調査」の結果を基に、ニーズ調査のためのアンケートを実施する。

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
	高齢者施設等との連携	連携方法について調査研究を行います。	高齢者施設と連携を行っている図書館の関連施設との連携方法について、事例を調査する。	2022 (R4)、2023 (R5) 年度にニーズ調査のアンケートを作成、実施する。
	来館困難者へのサービス提供	事例の調査研究を行います。	他市町村におけるサービス事例調査研究を行う。	
	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	事例調査及び研究を行う。協力を得られる機関を調査する。	2022 (R4) 年度、2023 (R5) 年度にニーズ調査を行う。
	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	出張図書館等の連携事業を検討します。	他市町村におけるニーズ調査を行う。	
	高齢者の生きがいを支える情報提供、学習支援	事例の調査研究を行います。	高齢者向けのミニ展示を行う。	
(6) 図書館利用に障がいのある人	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施 職員の負担軽減、作成マネジメントの見直しを図る。	
	録音図書の製作	所蔵するカセット資料のDAISY図書への変換作業を継続します。	継続実施 次年度以降の計画書を作成する。計画を見直し、作成マネジメントの見直しを図る。	効率化について検討する。
	マルチメディアDAISYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	予算要求 方針を定める。実施計画のローリングに計上する。予算要求のための調査をする(来年度以降に予定変更)。	2022 (R4) 年度に調査及び研究をし、2023 (R4) 年度に報告書をまとめて、予算要求する。
	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	新規音訳協力者養成講座を企画・立案・実施する。(R6R7に報告書を作成)	2022 (R4) 年度に計画を作成する。以降1年ずつ計画をずらす。
	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。	-(2年間計画/2年目)-(2年間計画/1年目) 点字図書、大活字本、LLブックの収集方針を立案する。オーディオブックコンテンツの購入、排架場所を検討する。再調査をする。各高齢者担当と協議し方針を定める。以降実施年度繰り下げ。	2022 (R4) 年度に計画を作成する。以降1年ずつ計画をずらす。

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	以降、継続実施 サービス対象者の見直しをする。調査結果をもとに心身障害者用郵便について調査を行い、導入を検討する。 2022 (R4) の導入を目指す。	2022 (R4) 年度に見直し、計画をまとめる。
	サインのバリアフリー化	事例やガイドライン等の調査研究を行います。	事例調査及び研究を行う。	
	サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	継続実施	
	施設・設備のバリアフリー化	必要な設備を調査し、施設のバリアフリー化を図ります。	事例調査及び研究を行う。	
	合理的配慮の提供の推進	館内のサイン・案内等の改善を図ります。	事例調査及び研究を行う。	
(7) 多文化	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	丸善ベストセラー等、現在の購入先以外の収集手段について調査し、購入する。	他館の事例調査を2022 (R4) 年度に継続して調査し、新しい購入手段を決定する。2023 (R5) に購入を開始する。
	多言語資料の収集	ニーズに沿った選定の方法を検討します。	多言語資料のMARCについて研究する。 利用状況について調査継続すると共に、多言語資料のMARCについて研究する。(継続調査) 2023 (R5) の実施を目指す。	2022 (R4) 年度に継続して調査、報告を行い、2023 (R5) に実施する。
	多言語資料の収集	電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。	多言語資料の提供・選書基準について、検討する。	
	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施 住民構成を参考に、所蔵していない言語の資料を収集し、広報を行う。	継続調査
	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施 日本語学習、検定資料を収集する。	課題解決に向けて、検討、調査、実施する。

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
	日本語学習、検定資料の収集、提供	選定方法を見直し、購入手法を検討します。	見直しに沿った日本語学習、検定資料の選定・受入方法を実施する。 資料の利用状況について継続調査し、12月までに取りまとめ1月中に報告し、見直しに沿った選定・受入方法を実施する。	2022 (R4) 年度再調査
	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	予算要求と、利用案内作成手段のホームページについての研究を行う。 他館の事例等について継続調査を行い、12月までに取りまとめ、1月中に報告する。	2022 (R4) 年度に調査、報告書をまとめ、2023年度以降計画を1年ずつずらす。
	利用しやすい環境の整備	やさしい日本語※ の利用案内の作成を検討します。	(2年間計画/2年目) やさしい日本語の利用案内について、先行事例や必要性を研究する。	
(1) 健康・医療情報	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	(2年間計画/1年目) 収集方針の改訂あるいは、選書方法の見直しを行う。	
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	サービスガイドラインを策定し、コーナーの設置を検討します。	サービスガイドラインを策定する。 闘病記を整備し探しやすいするための調査、分析、改善案をまとめ報告書を作成する。	
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	(3年間計画/2年目) サービスガイドラインと連動させて、闘病記の整備方針について、事例調査や視察を通して研究する。	闘病記を整備し探しやすいするための調査、分析、改善案(複数)をまとめた報告書を2022 (R4)、2023 (R5) 年度でまとめる(計画通り)
(2) ビジネス支援	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	(2年間計画/2年目) 蔵書研究、調査を行う。	ビジネス支援サービス研修については継続的に参加する。
	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	実施計画に載せる。	新規のデータベース導入の場合ローリングが必要。
	データベースの整備	ビジネス支援のための図書館活用法パンフレット作成を計画し、実施します。	(2年間計画/1年目) PRチラシなど、どのような形式が適切か事例調査及び研究を行う。	
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	(3年間計画/2年目) コーナーの設置や排架方法など、事例調査及び研究を行う。	

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。	継続実施	
	相談会の実施（会場・資料提供）	事例調査及び研究を行います。	（4年間計画／2年目） 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	
	相談会の実施（会場・資料提供）	中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。	（4年間計画／2年目） 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	
(3) 法情報	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。	（3年間計画／2年目） 資料の収集対象や選書方法についてリーフレットなどの配置も含めて検討し、資料の見直しを行い、報告書をまとめる。	
	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。	（3年間計画／2年目）事例調査を行い、有用なデータベースを調査する。バージョンアップまたは新規導入するデータベースを検討し、報告書をまとめる。	2022 (R4) 年度に継続調査し、実施計画への要求（予算要求）は、2023 (R5) 年度からとずらす。
	講座、セミナーの開催	ニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う。	
	講座、セミナーの開催	データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。	継続実施	
	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う（継続調査）。	2022 (R4) 年度も更なる継続調査が必要となったため、2023 (R5) 年度に今後の実施方向を含めた報告書をまとめる。
	(1) 地域資料	地域資料の収集、提供	今後も、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	以後、継続実施 資料の収集を継続する。 関係機関及び全庁的に資料を収集する手段の構築を検討する。 行政資料の網羅的な収集を行う仕組みを検討する。
地域資料の収集、提供		今後も、空港関係資料の収集を継続します。	継続実施	データを入力するための委託装備を実施する。 2021 (R3) 年度分



	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
	地域資料の収集、提供	行政資料の収集を継続します。	継続実施	
	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	以後、継続実施 成田市関係新聞記事データベース公開作業の遡及入力を継続する。	2022 (R4) 年度に完了見込み。
	地域資料のデジタル化	地域資料のデジタル化を進めます。	図書館システム導入に合わせて実施計画のローリング計上及び予算要求する。	2023 (R5) 年度に予定している図書館システム更新に合わせ、2022 (R4) 年度に予算要求する。
	地域資料のデジタル化	デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。	デジタル化資料公開継続に向けた計画表を作成する。	作業難航の要因である問題点の整理が必要。
	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。	継続実施	
	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施 年度当初に計画票を作成し、計画的に実施する。	年度当初5月までに展示計画を館長に提出することで計画的に実施できるようにする。
	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。 今後の方向性を検討します。	(3年間計画/1年目) 市史編纂事業の今後の在り方を、他市町村の状況の調査を踏まえ、成田市の方向性を市内で検討する。	
(1) 行政支援	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための図書館活用法を案内します。	新規職員研修のスケジュールに入れられるかを企画立案し、実施する。(図書館利用セットの作成) 継続実施	2022 (R4) 年4月初回実施予定
	行政向けレファレンスサービス	事例調査及び研究を行います。	行政へのレファレンスへの周知方法について検討報告する。	
	行政向けレファレンスサービス	有料データベース等ツールの広報やレファレンス事例の紹介を通じて利用の促進を図ります。	「市職員への利用案内」と連動し、図書館活用法案内に、有料データベース等のツールやレファレンス事例の紹介を盛り込むことを検討する。	
	行政支援としての図書館資料の貸出	市職員への図書館資料の貸出システムについて検討します。	物流の手段を、総務課と協議する。	

	検討する事項	取組内容	2022 (R4) 実施目標	備考
(3) 議会図書室との連携	議員へのレファレンスサービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレンスサービスの活用を促進します。	新議員の改選に伴う利用案内を検討する。	利用促進のためのPRを検討する。
	議員へのレファレンスサービスの実施	議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出について検討します。	物流の手順を議会事務局と協議する。	
	資料の整理・保存等の支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	(3年間計画/2年目) 担当課と協議して、スケジュールを策定する。 担当課と協議して議会図書室整理について方向性を検討する。	継続実施
	資料の整理・保存等の支援	議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等の保存等を支援します。	(3年間計画/2年目) デジタル化について担当課と協議して、スケジュールを策定する。今後のスケジュールについて協議を継続する。	予算化についてなど、担当課との協議継続。
資料行 連室政 と資 務	連携方法についての研究	事例の調査研究を行います。	事例の調査研究を行う。 総務課と今後の方針や課題について協議する。	継続実施
電 算 シ ス テ ム	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	(図書館システム) システムの機能向上について検討します。 ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	予算要求 業者選定	
	図書館電算システム、ホームページの維持管理・運用	(ホームページ) システムの機能向上について検討します。 ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス化を実施します。	ホームページ更新計画策定	
	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。	収集方針の改定	
	新たな技術の導入	本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置します。	予算要求	
	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。	予算要求	
	業務の効率化	本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。	予算要求	